

西宇和郡陸上運動記録会を終えて

10月15日、瀬戸中学校グラウンドで西宇和郡陸上運動記録会が行われました。本校からは4年生から6年生までの児童が参加し、自己記録の更新を目指しました。

記録会を終えて、子供たちが感じたことを紹介します。

■渡邊 愛空

練習は大変だったけれど、自己新記録を出して3m跳べてとても良かったです。

■竹本 莉乙

走り幅跳びやリレーで、記録を更新することができたし、力いっぱい取り組むことができたのでとても良かったです！

■苅田 菜々海

九町小学校として出場する最後の陸上記録会に向けて、みんなで毎日一生懸命練習してきたので、その成果を発揮できて良かったです。

■古田 輝良

自分の最高記録を更新できてうれしかったです。

■重岡 蒼

練習のときは、あまりとべなくて不安がいっぱいだったけれど、自分でも驚く記録を残せて良かったです。

■池田 昌太

60m走では、自己ベストを出せたのですごくうれしかったです。400mリレーでは、走り出すのが遅くなったけれど、3位だったからうれしかったです。

■井上 稜久

選手の人たちが頑張ってくれたので「いいな」と思いました。

■神山 煌珠

100m走では、全力を出して14秒を切りました。県大会に行けるようになりました。

■重岡 葵夏

九町小学校として出場する最後の陸上記録会だから、練習した成果を発揮できて良かったです。

■渡邊 龍羽心

本番は行けなかったし、出場できなかったけど、ちょっとずつ走れるようになり、みんなにも追いつけそうです。

■大田 一心

今年が九町小代表として最後の陸上記録会だったけれど、自分の自己ベストを出せたのでよかったです。次は伊方小で頑張りたいです。

■井上 秋穂

わたしは 60 メートルタイムトライアルに出ました。自分の自己ベストが出てうれしかったです。もっと速く走るために、たくさん練習したいです。

■大山 咲來

トライアルで自己ベストを出せたのでうれしいです。次頑張りたいです。

■山下 亜衣乃

リレーでバトンをもらうとき、走り出すのが遅くなったけれど、一生懸命走りました。来年もがんばりたいです。

■上田 翔

ボール投げで最高記録は出なかったけれど、全力で 33m を楽しく投げられてよかったです。

子供たちの感想から、それぞれが達成感を得たことが伝わってきてうれしく思います。

競技には順位が付きます。1 位になるかどうかは、自分の力だけではコントロールできない部分もありますが、目標に向かって努力を重ねることや、記録を少しずつ伸ばしていくことは、自分でコントロールし、取り組むことができます。

こうした努力の積み重ねは、「自己効力感」を高めることにつながります。自己効力感とは、特定の課題に向き合ったときに「自分ならできる」と信じる気持ちのことです。自己効力感が高い子は、挑戦に積極的になり、たとえ失敗してもあきらめずに再び挑戦しようとする姿勢を持っています。

これからも子供たちは、様々な場面で挑戦する機会があることでしょう。練習から本番までの一連の活動をとおして、子供たち一人一人が、困難な状況でも前向きに行動し、目標に向かって力を発揮できるようになってほしいと願っています。

